

## 《医療科学部臨床工学科》 学修成果の評価、進級、及び卒業認定の基準

### 1 学修成果の評価

成績評価は、期末試験や中間試験等のほか、レポート、学修課題（期末課題、中間課題等）、授業への参加態度・実習への取組姿勢、実技課題、プレゼンテーション等の方法によるものとし、原則としてこれらいずれか複数の項目により行う。シラバスには、この評価方法及び評価割合を記載している。期末試験や中間試験等以外の方法による成績評価については、原則としてルーブリックにより行う。

成績は、A、B、C、D、E、Xの6段階で表し、A～Dを合格とし単位を与える。

なお、履修登録単位は、一学期当たり24単位（年間48単位）を上限として設定している。

### 2 客観的な指標の設定・算出方法

本学ではGPA制度を導入している。

GPAは、成績評価（A～X）に基づき付された次のGP（グレードポイント）に当該科目の単位数を乗じた値を合計し、それを履修登録単位数の合計で除することにより算出する。

＜A=4、B=3、C=2、D=1、E=0、X=0＞

GPAは学期ごとに算出する。また、每期、学年全体のGPAの総括的な成績分布資料を作成し、ホームページにおいて公表する。

《GP及びGPAについて》

成績区分	評点	Grade Point
A	100～90点	4.0
B	89～80点	3.0
C	79～70点	2.0
D	69～60点	1.0
E	60点未満	0.0
X	評価不能	0.0

$$\text{＜計算式＞ } GPA = \frac{\text{「(科目の単位数) × (当該科目のGP)」の総和}}{\text{登録科目の総単位数}} \quad (\text{注})$$

注：履修登録抹消した科目は除く。成績評価で不合格となった科目は含む。

### 3 進級の基準

#### 【2023年度以降の入学生の進級要件】

本学科では、2年次、3年次、4年次の進級に関する要件を次のとおり定めている。

1. 当該学年までの全ての必修科目に合格している場合は、次年次への進級を認める。
2. 上記1にかかわらず、当該学年までの必修科目のうち、不合格となった科目の合計が4科目以下の場合は、次年次への仮進級を認める。ただし、必修科目の1科目以上が出席不良により不合格（成績評価が「X」）となった場合、又は基礎ゼミⅠ、基礎ゼミⅡ、専門ゼミⅠ、専門ゼミⅡの4科目のうち1科目でも不合格（成績評価が「E」または「X」）となった場合は、仮進級を認めない。
3. 仮進級者は、前年度までに不合格であった必修科目について、仮進級者試験を受けることができる。その場合は、原則として、該当科目の出席時間数の要件を満たしているものとみなし、出席不良による受験停止にかかる規定の適用を免除する。
4. 上記1又は2の条件を満たさず、進級又は仮進級とならなかった者は留年とする。
5. 留年となった者は、前年度までに不合格であった必修科目を再履修し合格しなければならない。前年度までに合格であった科目の単位は認めることとする。ただし、留年となった者が既修得科目の再評価を希望する場合には、学部教授会が認めた科目に限り再履修することができる。

#### 【2022年度以前の入学生の進級要件】

本学科では、2年次、3年次、4年次の進級に関する要件は設定していない。

ただし、それまでの単位の取得状況が芳しくないなどの理由で、進級した場合に学業に多大な困難が想定される場合は、該当者と相談しつつ、留年を含めた指導を行うことがあり得る。

#### 4 卒業認定の基準

卒業の認定に必要な要件は、次のとおりである（本学学則第22条）。

- 一 修業年限以上在学すること
- 二 所定の授業科目を履修し、128単位以上を修得すること
- 三 所定の学生納付金を完納すること

以上3つの要件のうち、「二」の要件の具体的な内容は次のとおりである。

##### 【2023年度以降の入学生の卒業要件】

卒業に必要な単位数は、必修科目117単位を含む128単位である。選択科目は11単位以上の取得が必要であり、内訳は、基礎科目から6単位以上（うち人間と社会の理解から4単位以上）、発展科目から5単位以上であること。

	必修科目 単位数	区分別選択 必修単位数	小計
<b>基礎科目</b>	<b>16 (12)</b>	<b>6</b>	<b>22</b>
思考と表現	8 (6)	6	
人間と社会の理解	2 (1)		
自然科学の基礎	6 (5)		
<b>専門基礎科目</b>	<b>39 (23)</b>	<b>0</b>	<b>39</b>
医学系基礎	14 (9)		
理工学系基礎	25 (14)		
<b>専門科目</b>	<b>53 (33)</b>	<b>0</b>	<b>53</b>
医用生体工学	7 (4)		
医用機器学	11 (8)		
生体機能代行装置学	12 (9)		
医療安全管理学	6 (5)		
関連臨床医学	8 (4)		
地域・連携	2 (2)		
臨床実習	7 (1)		
<b>発展科目</b>	<b>9 (6)</b>		
医工連携・専門発展	1 (1)	5	
情報・データサイエンス	1 (1)		
総合	7 (4)		
	<b>117 (74)</b>	<b>11</b>	<b>128</b>

※ 必修科目の欄の（ ）内の数字は、必修科目の科目数

##### 【2022年度以前の入学生の卒業要件】

卒業に必要な単位数は、必修科目115単位を含む128単位である。選択科目は13単位以上の取得が必要であり、内訳は、基礎科目から6単位以上（うち人間と社会の理解から4単位以上）、発展科目から6単位以上、そのほか選択科目全体から1単位以上であること。

	必修科目 単位数	区分別選択 必修単位数	その他必要 選択単位数	小計
<b>基礎科目</b>	<b>17 (13)</b>	<b>6</b>	<b>1</b>	<b>23</b>
思考と表現	8 (6)	6		
人間と社会の理解	3 (2)			
自然科学の基礎	6 (5)			
<b>専門基礎科目</b>	<b>42 (25)</b>	<b>0</b>		<b>42</b>
医学系基礎	19 (12)			
理工学系基礎	23 (13)			
<b>専門科目</b>	<b>47 (31)</b>	<b>0</b>		<b>47</b>
医用生体工学	7 (4)			
医用機器学	8 (5)			
生体機能代行装置学	13 (10)			
医用安全管理学	5 (4)			
関連臨床医学	6 (3)			
地域・連携	4 (4)			
臨床実習	4 (1)			
<b>発展科目</b>	<b>9 (6)</b>			
医工連携・専門発展	2 (2)	6		
情報・データサイエンス	1 (1)			
総合	6 (3)			
	<b>115 (75)</b>	<b>12</b>	<b>1</b>	<b>128</b>

※ 必修科目の欄の（ ）内の数字は、必修科目の科目数